

3ヶ年の活動総括（案）について

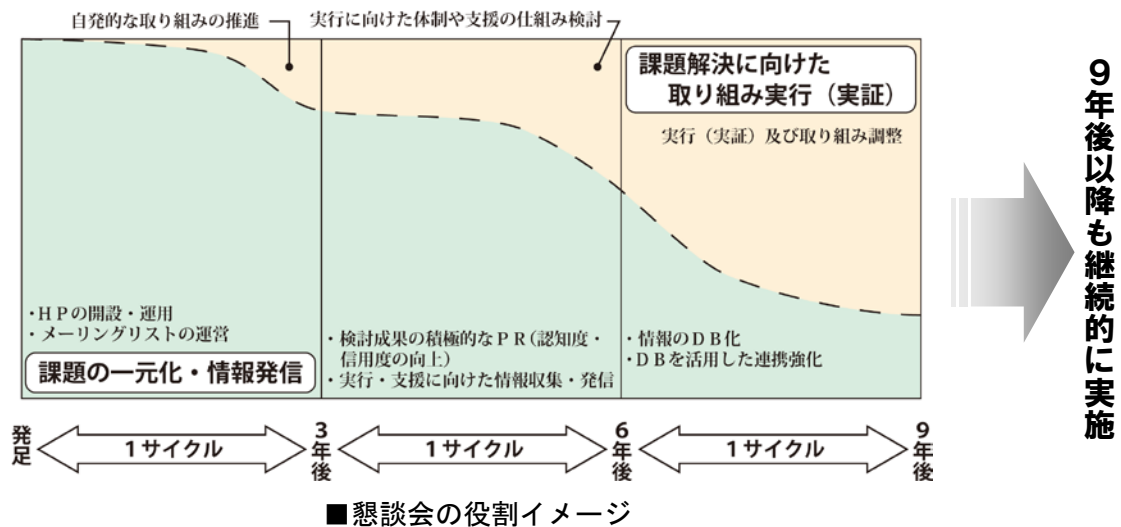
1. 懇談会の活動経緯について

1.1 懇談会の目的

- 矢作川流域圏に關係する各組織のネットワーク化を図る
- 流域圏一体化の取り組み及び矢作川の河川整備に関わる情報共有・意見交換を図る

1.2 懇談会の運営方針

- 懇談会は、3年1サイクルで総括を行いながら運営
- 当初3ヶ年では「組織化と情報共有・一元化」を重視
- 次のサイクルからは「課題解決に向けて取り組み実行（実証）」へシフト



1.3 これまでの懇談会の活動成果

平成22年度

- ① 矢作川流域圏における課題の整理により、参加者の情報共有が進展
- ② 水をキーワードに、民・産・学・官が同じテーブルに着く組織が設立され、継続化
- ③ 市民自らの提案により、自主的な活動（ワーキング）の提案も提起
- ④ ホームページやメーリングリストによる情報発信・共有の開始

平成23年度

- ① お互いの立場の違いを認識した上での、矢作川流域圏全体の問題点・課題の共有
- ② 山・川・海でまず検討したい（大きな）課題を抽出・整理と解決に向けた手法の検討

平成24年度

- ① 具体的な解決策の検討や課題解決に向けた行動につなげ、当初3ヶ年の総括の実施（流域連携による検討のしくみをつくる）

1.4 懇談会の活動内容

(1) 平成 22 年度の活動内容

事務局主導による懇談会の組織づくりを重視

(活動内容)

- 設立総会開催（8/28）後、地域部会（1回）、市民会議（2回）開催
- 勉強会として、山・川に関する座学を各1回開催



(2) 平成 23 年度の活動内容

市民主導の運営により、現地を見ながら課題と解決手法を模索

(運営方針)

- ① 「市民企画会議（WG）」の新設により、市民主導の運営にシフト
- ② 「勉強会」を流域連携につながるフィールドワークの場として活用
- ③ 「市民会議」は市民企画会議・勉強会の活動成果を積極的に活用
- ④ 「地域部会」にて課題の解決手法と検討体制を明確化



(活動内容)

- 平成 22 年度後から引き続き、市民会議、地域部会を各1回開催
- 勉強会については、フィールドワークの場として3回・座学を1回開催
- 市民主導の「市民企画会議（WG）（5回）」「意見交換WG（14回）」を開催
- 地域部会を山・川・海部会で各1回開催（合同＋個別議論）



(3) 平成 24 年度の活動内容

部会別ワーキングにより、解決手法の具体化と流域連携のあり方を検討

(運営方針)

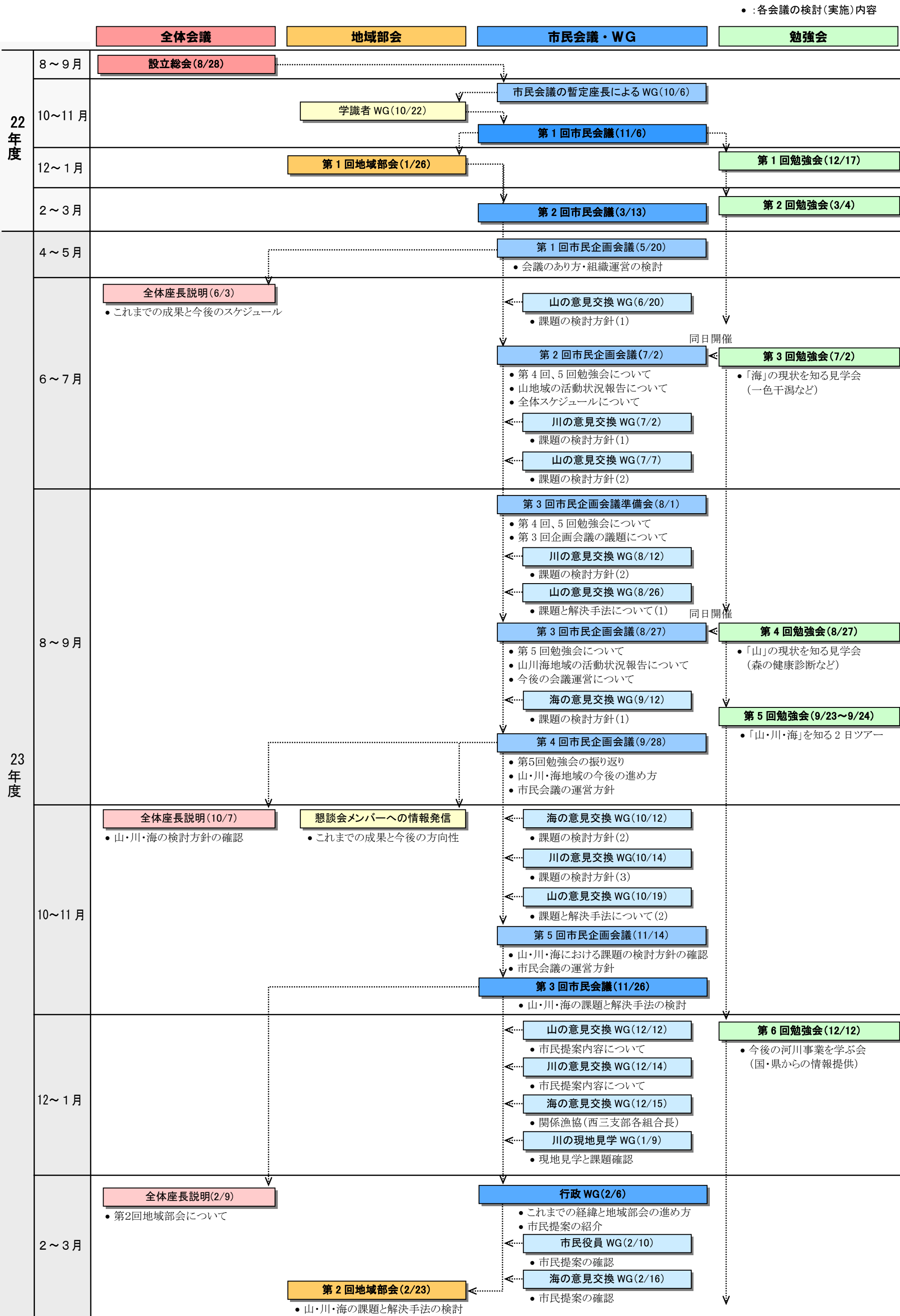
- ① 部会別に個別のワーキング新設し、官民連携を強化
- ② 市民会議、市民企画会議、勉強会は、継続的に実施
- ③ 3年1サイクルの最終年として、全体会議でこれまでの成果を総括



(活動内容)

- 部会別WGは、山（8回）、川（8回）、海（6回）の計24回開催
- 市民会議（1回）、市民企画会議（4回）、勉強会（3回）をそれぞれ開催
- 全体会議は年2回開催





		● : 各会議の検討(実施)内容			
		全体会議	地域部会	市民会議	勉強会
23 年度	3月			第6回市民企画会議(3/15)	
	4月		● 海の部会別 WG(4/21) □ヨシ植え(干潟・ヨシ原再生) ● 山の部会別 WG(根羽)(4/28) □根羽村森林組合		凡例 ● 終了 ○ 開催決定 ○ 調整中
	5月		● 山の部会別 WG(準備)(5/9) ● (川)家下川モデル第1回 WG(5/18) □現地視察+活動方針の確認 ● 山の部会別 WG(岡崎)(5/19) □岡崎森林組合	第7回市民企画会議(5/25) □取り組み方針の確認	
	6月		● 山の部会別 WG(準備)(6/7) ● 山の部会別 WG(恵那)(6/16) □恵南森林組合 ● (川)本川モデル第1回 WG(6/23) □現地視察+活動方針の確認	市民会議海部会(6/9) □奈佐の浜海岸清掃へ参加 (井上海部会長)	
	7月	● 全体座長事前調整(7/5)	● 海の部会別 WG(準備会)(7/5) □今年度の運営方針の確認 ● 海の部会別 WG 現地調査(7/7) □三河湾環境再プロ「海の観察会」参加 ● 山部会別 WG(豊田)(7/7) ● (川)家下川モデル第2回 WG(7/15) □対策手法の検討または実証	第8回市民企画会議(7/22)	第7回勉強会(7/22) □(座学)土砂管理(第1回)
	8月	● 第1回全体会議(8/3) □H24年度の取り組み方針の調整	● 海の部会別 WG(8/12) □水辺アクセス調査 ● (川)本川モデル第2回 WG(8/23) □対策手法の検討または実証 ● 山の部会別 WG(根羽・平谷)(8/24・25)		第8回勉強会(8/6) □(座学)土砂管理(第2回)
	9月		● 海の部会別 WG(9/8) □21世紀奈佐の浜PJ委員会(ゴミ) ● (川)本川モデル第3回 WG(9/21) □AM 現地 PM 対策手法の検討	第9回市民企画会議(9/10) □豊田職員会館 18-20	
	10月		● 海の部会調整 WG(10/2 青木座長、井上部会長) ● 第3回海の地域部会(10/23 西尾市役所 15-17) *夜の懇親会を実施(西尾駅周辺) ● (川)家下川モデル第3回 WG(10/26 末野原公民館 13-17) □対策手法の検討または実証 ● 山の部会別 WG(岡崎)(10/26・27) ※10/26 18:00 くらがり溪谷キャンプ場		
	11月		● (川)本川モデル・家下川 WG(11/2 末野原公民館 13-17) ● 海の部会別 WG(11/5 西尾市役所 5階 14-17) ● 第3回山の地域部会(11/16 14-17) ● 山の部会別 WG(恵那)(11/16 夜・/17 13-17) ※森の健康診断報告会上矢作 11/17 10-12 上矢作農業集落センター(泊:こしざわコテージ)	第10回市民企画会議(11/7 夜) ・豊田市職員会館 3階第1部室 18:30 ~20:30	
	12月		● 第3回川の地域部会(12/7 豊田市産業文化センター15~17) *夜の流域圏全体懇親会を実施する 18:00~豊田市内 ● 海の部会別 WG(12/11 西尾市文化会館 15-17)	第4回市民会議(12/12 18~20時) ・豊田市福祉センター ・H24年度取り組み総括と来年度方針	第9回勉強会西尾市文化会館 12/11 13-15) *「三河湾の課題と対策」について
	1月		● 山の部会別 WG(豊田)(1/11・12) WG・泊:共に豊田「あすけ里山ユースホステル」 ● 地域部会役員調整会議・市民企画会議合同会議(1/22 10-12) 開催場所:名城大学「名駅サテライト」		
	2月	○ 第2回全体会議(2/18 13:-15 豊田市商工会議所) □3ヶ年の総括 □H25年度以降3ヶ年の運営方針の調整			

24
年度 (1.22 現在)

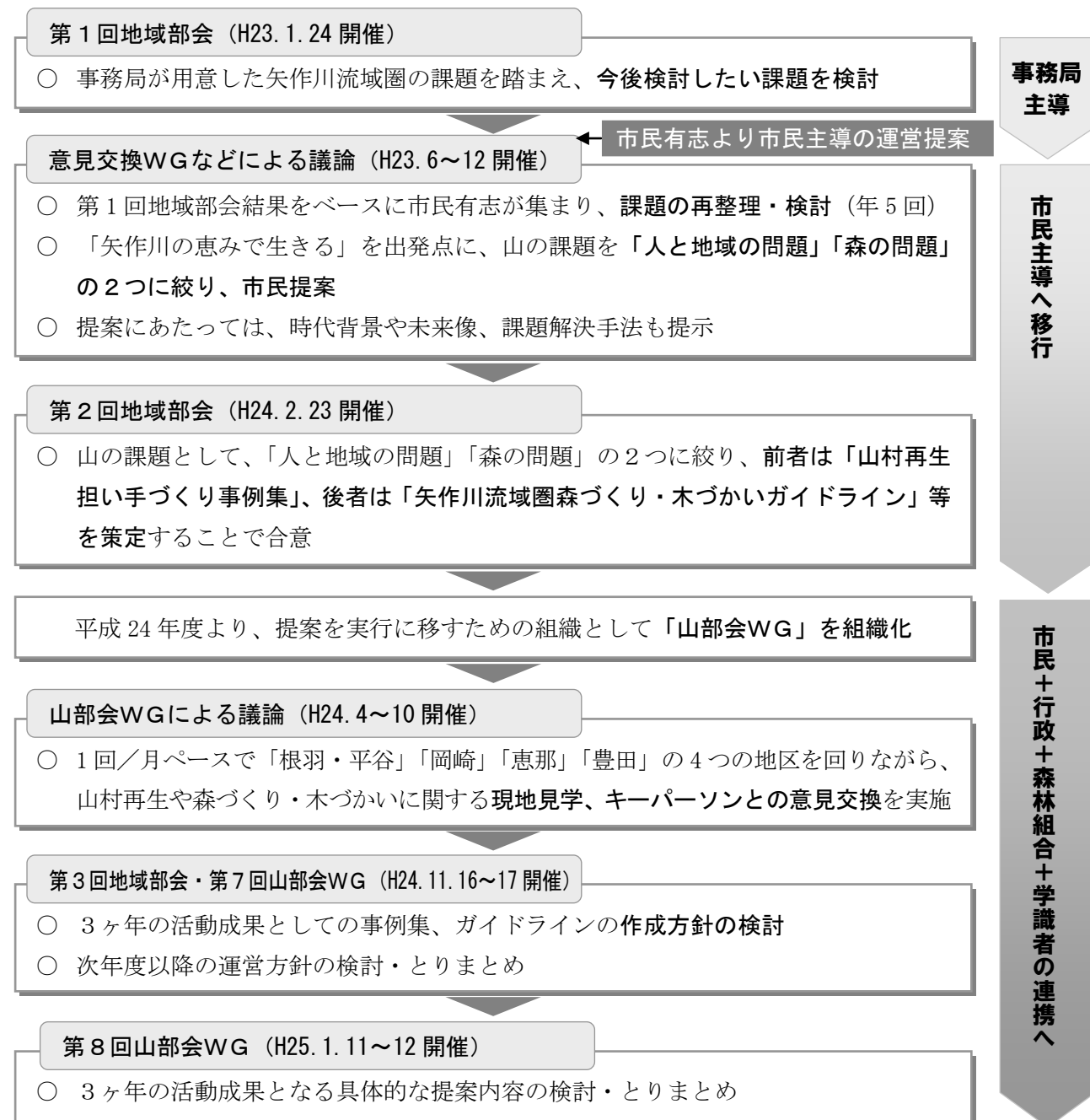
2. 山部会の活動総括

2.1 山部会の検討テーマ

山部会で検討してきたテーマ（課題）と解決手法は、以下に示すとおりである。そのうち、網掛けした手法を抽出し、具体的な検討を行った。

<テーマ（課題）>	<解決手法>
テーマ１： 人と地域の問題	山村再生担い手づくり事例集の作成
	矢作川流域山村ミーティングの開催
	流域フェアートレードの推進
テーマ２： 森の問題	矢作川流域圏森づくりガイドラインの策定
	矢作川流域圏木づかいガイドラインの策定
	モデル林の設定とモニタリング

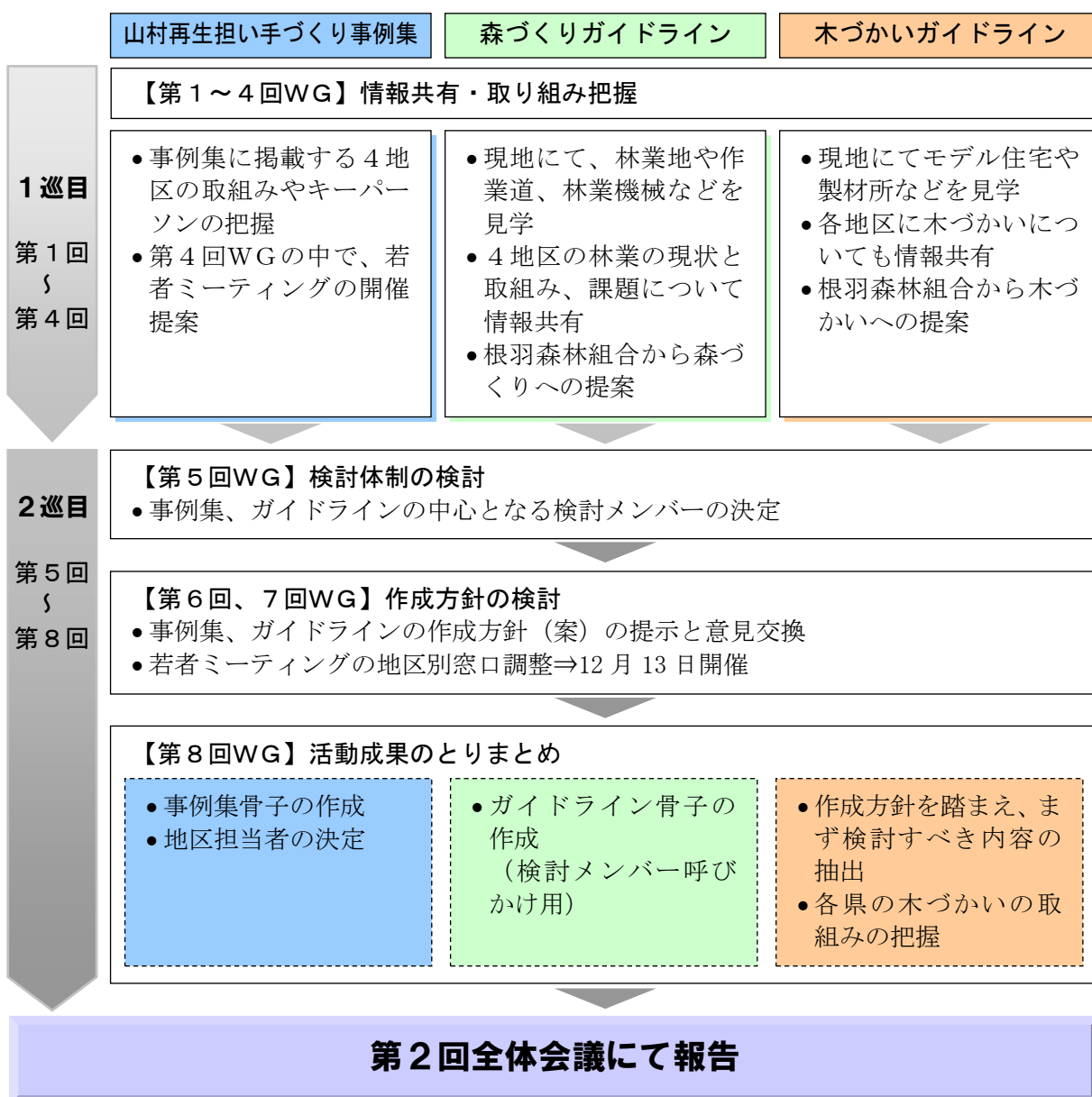
2.2 これまでの検討の流れ



2.3 活動内容

2.1 で示した検討テーマについて、具体的な検討を開始した平成 24 年度の活動内容を、以下に整理する。

- 「根羽・平谷」「岡崎」「恵那」「豊田」の 4 つの地区を回りながら、各地区 2 回、計 8 回 WG を開催
- 1 巡目（第 1～4 回）は、現地見学やキーパーソンとの意見交換により、それぞれの地域の実情や山村再生、森づくり、木づかいに関する取組みを把握
- 2 巡目（第 5～8 回）は、解決手法に関する検討体制や方針、具体的な内容を検討



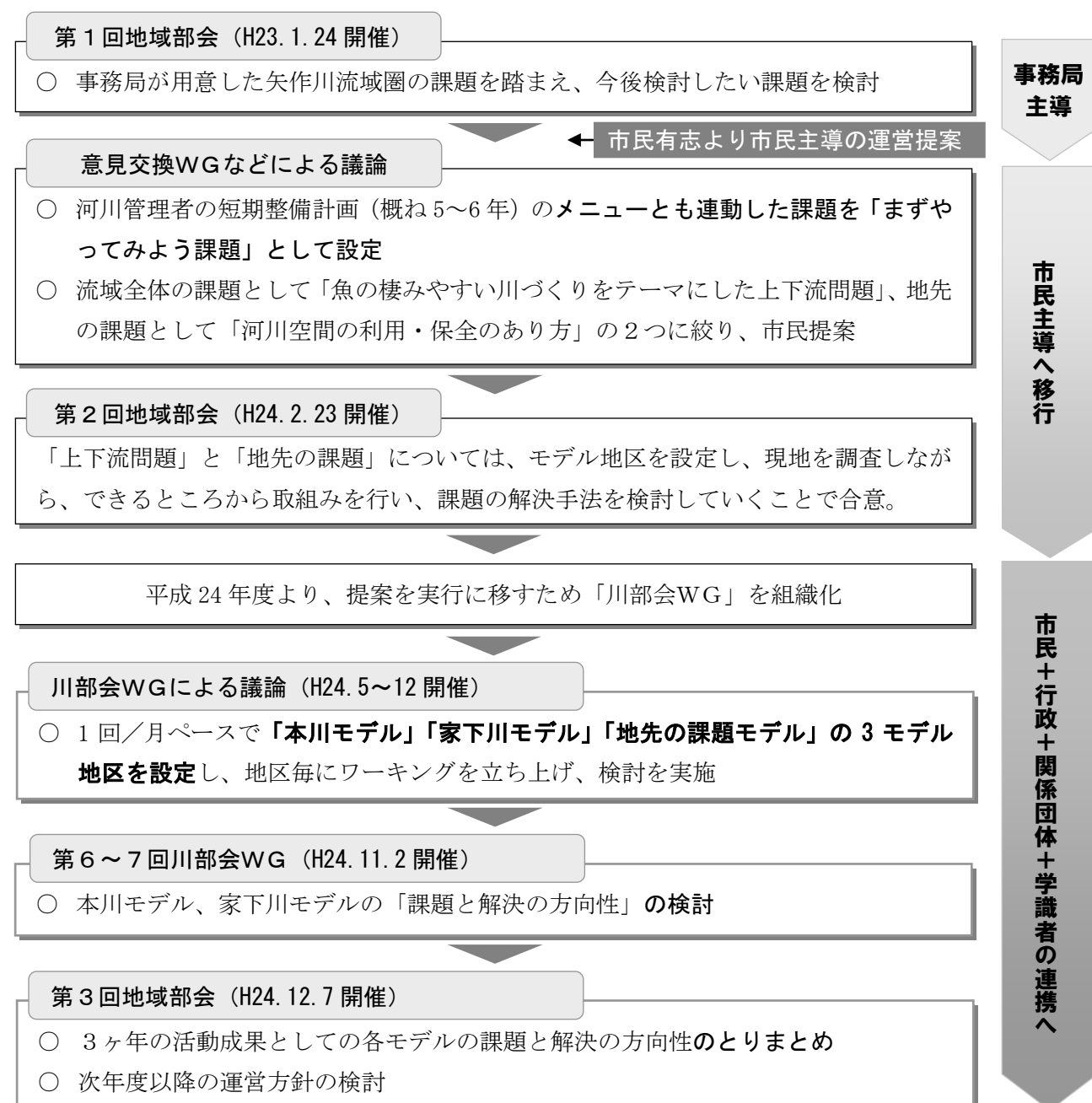
川部会の活動総括

2.4 川部会の検討テーマ

川部会の各モデルで検討してきた課題と解決手法は、以下に示すとおりである。

<テーマ>	<解決手法>
テーマ1： 魚の棲みやすい川 づくり(上下流問題)	本川モデル：課題と解決の方向性(案)の作成・更新、個別課題の取り組み 家下川モデル：課題と解決の方向性(案)の作成・更新、個別課題の取り組み
テーマ2：地先の課題	地先モデル：(仮) 専門家リストの作成、個別課題の取り組み

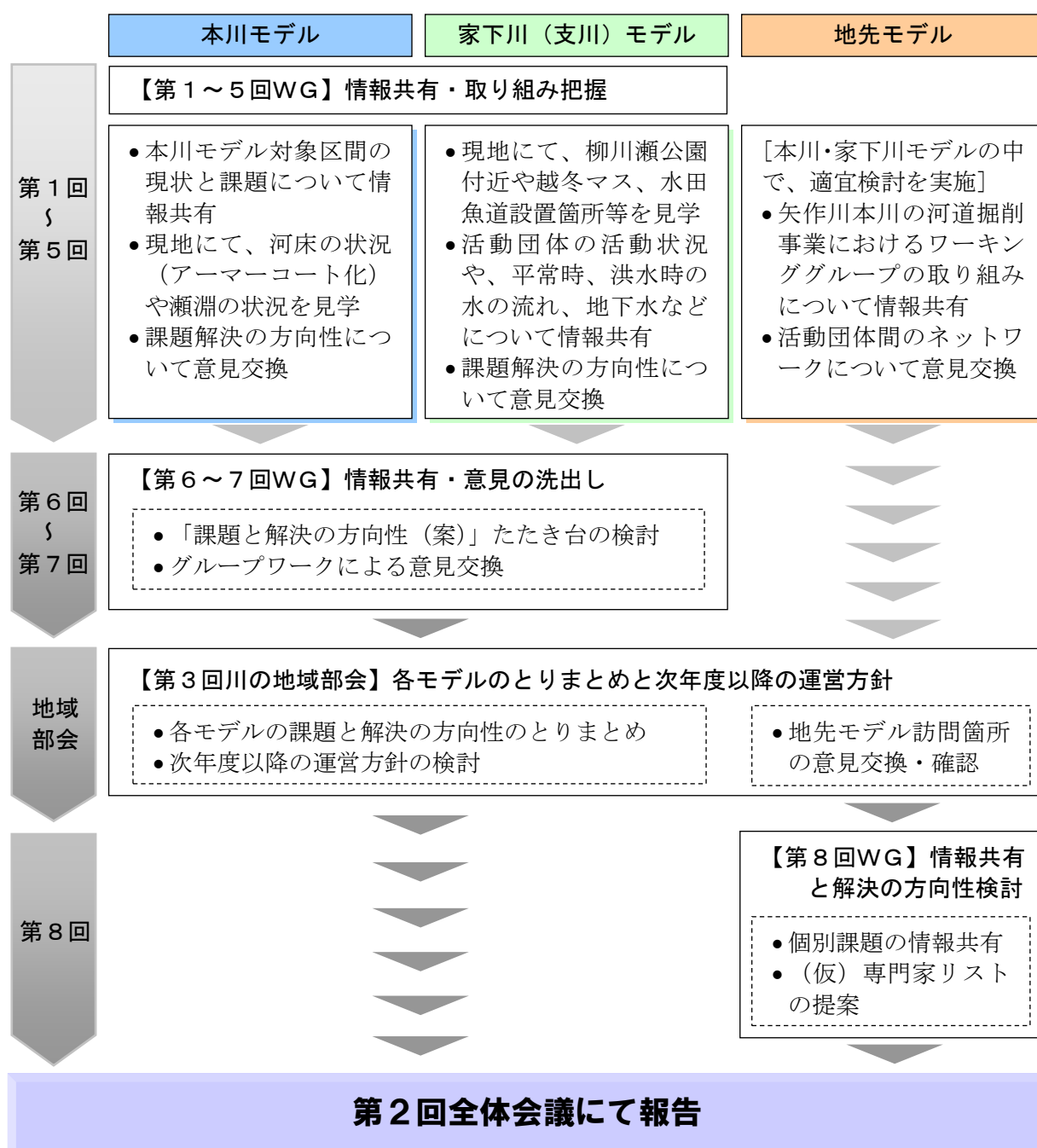
2.5 これまでの検討の流れ



2.6 活動内容

3.1 で示した検討テーマについて、具体的な検討を開始した平成 24 年度の活動内容を、以下に整理する。

- 「本川モデル」「家下川モデル」「地先モデル」の 3 モデルで計 8 回WGを開催。
- 「本川モデル」「家下川モデル」では、「魚の棲みやすい川づくりをテーマにした上下流問題」を扱うこととし、各WGで、各団体の情報提供や現地調査による情報共有と課題と解決の方向性を検討してきた。
- 「地先モデル」では、「河川空間の利用・保全のあり方として地先の課題」を扱うこととし、個別課題の情報共有や解決の方向性を検討してきた。



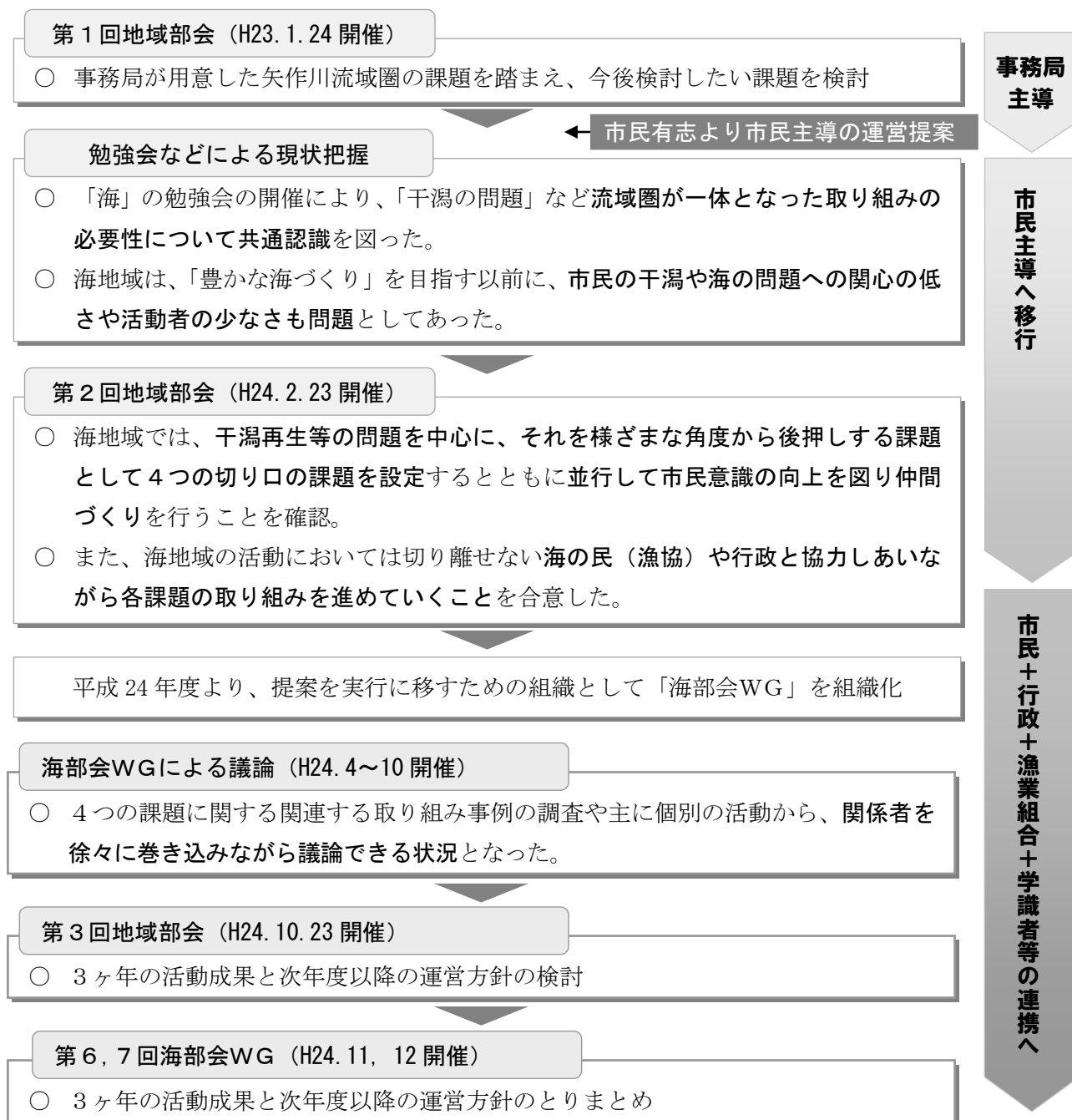
海部会の活動総括

2.7 海部会の検討テーマ

海部会で検討してきた目標とそれを支えるテーマ（課題）、解決手法は、以下のとおりである。

（目標） 流域圏でつくる「親しみやすい豊かな海」の実現	
＜テーマ＞	＜解決手法＞
ごみ・流木の問題	被害軽減：干潟・水辺のゴミ、流木対策検討に向けた調査
豊かな海の姿の検討	理想追求：市民、学識等の様ざまな調査より学習・分析
海と人の絆再生	人づくり：心理面や物理的障害の発見、活動マッチング支援
干潟・ヨシ原再生	自然再生：川と海の連携による干潟再生

2.8 これまでの検討の流れ



2.9 活動内容

4.1 で示した検討テーマについて、具体的な検討を開始した平成 24 年度の活動内容を、以下に整理する。

- 本年度の海部会WGは、主に個別課題に関連する活動情報、関連情報等を調査し、今後の具体的な活動の方向性の検討を進めてきた。
- ①ごみや流木の問題の現状把握することからはじめる必要があり、出水後に試行的に調査実施できるよう「調査票」のたたき台を作成した。（出水がなかったため未実施）
- ②海の豊かさを海の健康診断で生き物の状態から判定することができないか話し合いを進め、水産試験場や学識の持つ情報と合わせ継続的に検討していく体制を決めた。
- ③海の現地調査を実施した。物理的なアクセス改善だけでなく心理的な改善を含めて、海での活動者が増えるような仲介支援を行うこと（方法論の検討）を活動方針として定めた。
- ④川部会と連携し、干潟・ヨシ原再生事業に協賛した。
- また、勉強会で川の干潟やヨシ原が、海の生き物にも関係がある調査結果から川～海連携の重要性を共有した。

WG	実施日	実施内容	取り組み課題			
			ごみ・流木	豊かな海の検討 (生き物調査)	海と人の絆再生 (アクセス改善)	干潟・ヨシ原再生
第1回	4月21日	ヨシ植え参加（川部会と連携）				●
第2回	7月5日	本年度の活動方針の話し合い	●	●	●	●
第3回	7月7日	三河湾再生プロジェクト「海の観察会」参加		●		
第4回	8月12日	アクセス改善のための現地調査(矢作川河口部～東幡豆エリア)			●	
第5回	9月8日	答志島「奈佐の浜プロジェクト」への参加	●			
—	時期未定 (出水時)	ごみ・流木調査票（案）の作成 (出水時のごみ・流木調査を計画)	●			
第6回	11月5日	第2回全体会議に向けたとりまとめ① ・4つの課題の検討経緯と取り組み状況 ・4つの課題に関する意見・提案等の話し合い	●	●	●	
第7回と 同日開催	12月11日	海地域勉強会 「(仮称)三河湾の各課題の現象とその総合的な対処とは」		●		●
第7回	12月11日	第2回全体会議に向けたとりまとめ② ・4つの課題に関する意見・提案等の話し合い				●

第2回全体会議にて報告